



発行所
長野市PTA連合会
発行人
野田和広
編集責任者
五十嵐可奈子

INDEX

- 1 第63回長野市PTA連合会研究集会『Walk on』新しい時代への歩みをともし
- 2 市P連&各ブロックの活動紹介
- 3 各校のSDGsの取組みを紹介
〜地域性を生かした特色ある取組みや活動〜
- 4 せんせい！教えて!! Part 2
〜等身大の保護者の悩みに答えます!!〜

長野市PTA連合会
[78単位PTA]
児童・生徒数 28,243人
家庭数 23,203家庭
教職員数 2,056人
令和3年4月現在

長野市PTA連合会事務局
〒380-0936
長野市大字中御所岡田30-1
山王小学校内
TEL026-268-1301
FAX026-268-1302
E-mail ngc-pta@trust.ocn.ne.jp
http://www.ngcpta.com

第63回長野市PTA連合会研究集会

「Walk on」新しい時代への歩みをともし

第63回長野市PTA連合会研究集会在11月14日(日)、長野市芸術館メインホールで開催されました。第一部は「ペップトーク」をテーマに「言葉の力で行動をかえるには」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

第一部 徳武有紀氏講演会

「ペップトーク」はスポーツ「元氣」「活気」「活力」の意味があります。人を励ます、やる気にさせるポジティブな言葉かけのペップトークは、家庭や職場だけでなく自分自身に対しても日常的に実践できるスキルです。

徳武氏は大阪出身で、結婚を機に長野に移住されました。かつては不機嫌な言葉をつかって

しまっていました。子育ての中でペップトークに出会い、「なんでできないの？」を「どうやったらできるかな」と、少し言葉を換えるだけで伝わり方が違うことを実感されました。



この他にも、子どもたちを他

第二部 パネルディスカッション



講演に続き信越放送中澤佳子アナをコーディネーターに、講師の徳武氏、元信州ブレイブウォリアーズキャプテン武井弘明氏、下水飽小学校島立仁美校長、長野市PTA連合会野田和広会長によるパネルディスカッションを行いました。

そして、投げかけた人自身も幸せになる。どんなに小さなことでも感謝する習慣をつけることで接し方も変化し、相手の態度も変わる」と述べ、野田会長も「ありがたい」とひとつで気持ちが変わる。とても大切な言葉」と話しました。

家庭内でのペップトークは？最後に家庭内でのペップトークについて問われた徳武氏は、視線を合わせ、相手に寄り添うことが大切とした上で、「親子だけでなく夫婦も同様です。日頃からきちんと寄り添い、相手の良い所も苦手な所もすべてを知り、認めた上で、相手に応じた言葉を選んであげることが大切。」「つい子どもにイライラしてしまいがちな場面でも、言葉がけ一つで雰囲気は変わる。日々のコミュニケーションを大切に、子どもの成長を信じてペップトークを少しずつ養っていきましよう」と締めました。



「ありがたい」という言葉に自身を励まされた島立先生は、それ以来、教育現場における子どもたちとのやり取りの中で「ありがたい」という言葉を大切に、意識的に使うようになっているとのこと。

これに対し徳武氏は「ありがたい」という言葉は「最幸」のペップトークであり、投げかけると相手からも返ってくる

「言葉の重要性」バスケットボールというチームスポーツの観点から言葉は重要と語る武井氏。「選手一人一人、考え方も目標も異なる。チームを同じ目標に向かわせるためには相手を理解することが大切。そうすることで、一人一人にかけられる言葉も変わってくる。」「子どもたちにバスケを教える際には、難しい表現ではなく、短い言葉で簡潔に伝えるなど工夫が必要。様々な言葉の引出しを持っていることも重要」と述べました。

健康なからだづくりのために、菌活をする人が増えています。
そのカギを握っているのが、菌類の生命力。
水河期をも生き抜いた驚異の生命力。それを、そのまま食べることができる
唯一の食材が、きのこのなです。 **きのこは、菌100%。**
さあ、あらためて味わってみませんか？ 約10億年ぶんのおいしい生命力を。
「きのこで、菌活。」をとおして、健やかな毎日と、その先にうまれる
たくさん笑顔を支えたい、ホクトです。

食べていたのは、
約10億年ぶんの
生命力でした。

きのこはば 検索

【広告】

市P連&各ブロック 活動紹介

オンラインや人数制限、工夫して地域らしい活動を実施

長野市PTA連合会(市P連)は、市内78の小中学校それぞれの単位PTA(単P)の活動他に、5つの委員会に所属して進める市P連全体の事業や、市内を7つの地域にわけた「ブロック」毎の活動を実施しています。教育問題委員会が担当し10月に開催した教育懇談会と、8〜11月に開催されたブロックの活動をご紹介します。コロナ禍でも工夫して、それぞれの地域らしい活動になっています。

教育懇談会(10月5日ホテル国際21)

ひとり1台配備完了「GIGAスクール構想」

授業はどう変わったか?家庭での注意点は?

文部科学省が進める「GIGAスクール構想」で長野市は、昨年度から児童生徒1人1台のタブレット端末の導入を進め、8月末に小・中学校への配備が完了しました。10月5日に開催した長野市教育懇談会では、単Pの会長と、市校長会、市教育委員会から36人が参加し、「ICT教育について」の講演と、グループディスカッションが行われました。

「長野市のICT教育について」と題した長野市教育委員会・勝野学教育次長の基調講演では、1人1台端末の活用により子どもたちの学びがどのように変わり、充実するのか、各学校の授業の様子を交えながら一般的な活用、ICTの強み、また学校間や学級間での取組みの差が生じないような配慮について説明がありました。今年度からスタートした市の「第三期しなのきプラン」では、予測困難な未来を生きる子どもたちに明日を切



り拓く力として、自ら問いをもち、自ら学びを進める「自学自習の資質能力」を伸ばすことに重点がおかれています。全員がタブレットやノートPCを持つようになり、ともすると学校での学習がすべてICT化されるかのような誤解をされがちですが、実際はこれまでの授業をベ이스に、あたらしい道具を効果的に活用することで、教育の可能性がより引き出されるよう取り組んでいます。

端末を活用するメリットも多く、ネットでは写真や動画の視聴やそれを活用した資料等の作成などができ、子どもたちの学習意欲の向上にも繋がったという学校からの報告も多いとのこと。また、オンラインワンの学習支援ソフト「ミライシード」の導入により、クラス全員の意見を一覧で見られるなど、授業の展開や子どもたちの発言方法も大きく変わりました。さらにデジタルドリルを活用し、自分の弱点を効率的に学べる授業の工夫なども市内の学校・先生で研究されています。

一方で子どもたちが適切・安全な端末活用による学びの充実を図るためには、学校と家庭の連携が一層大切になるという話もありました。昨年度、長野市でも小学校で12件、中学校で15件のSNSに関するいじめなど

ネットに関するトラブルが報告されています。安心して利用できるよう、学校でも端末へのフィードバックや発達段階に応じた指導などありますが、家庭においても端末の使用時間や使い方のルールづくりや、学校で学んだ情報モラル、タブレット学習の様子などについての会話を子どもとして欲しいと、勝野教育次長。適切な端末利用に向けての第一歩は、家庭内のルール・約束づくりです。約束をした後は、見守り、必要に応じた改善について子どもと一緒に考え、適切な活用を習慣化していくよう協力を求めました。

講演会後には、参加した市教委、学校長、PTA会長などが6グループに分かれ、長野市のICT教育についてグループディスカッション「分散会」が行われました。「コロナ禍で授業参観も減り、学校でタブレットをどのように活用しているかを認識する機会になった」「家庭で子どもたちに正しい利用方法を教えるためにも様々な情報を提供し、保護者が正しい利用方法を認識する機会を増やして欲しい」といった意見が出されました。

「親子が一緒に体験」をテーマにした体験型研修で、「季節の星空」のプラネタリウム鑑賞と、親子共同作業での木工工作が行いました。プラネタリウムでは満天の星空が球体スクリーンに映し出され、博物館スタッフによるこの時期長野で見られる星座の紹介などがあつたほか、木工工作では、大小様々な形をした木を使い自由な発想で作品を作りました。

コロナの影響で、学校行事や市内のイベントなどの多くが中止される中、人数を制限し、こまめな消毒、間隔をしっかりとるなど徹底した感染予防を行い実現した今回の研修会。親子が一緒になって「何を作ろうかな」

山上市務局長には、2004年オープンした防災メモリアル地附山公園で実際に撮影していただき、自然災害の恐ろしさだけでなく、地附山トレッキングコースの楽しみ方や、眺望や気軽な山歩きの魅力についても伝えてもらいました。地附山は標高733mの小さな山ですが、善光寺平の眺望やその裏側の飯綱高原も眺望が素晴らしく、昭和30年代にはロープウェイや動物園やスキー場であったそうです。古墳や戦国時代の城跡などもある地域の山で、天気の良い日に親子でトレッキングをしながら日頃の出来事を話してみたいかがでしょうか?

「防災」について学ぶオンライン研修会

犀川・裾花川流域の学校が多い犀北ブロックでは、国道19号の土砂崩落や、今年8月の大雨による避難指示など、災害に対する危機感がとくに高まっています。そこで今年度は、「防災対策について」をテーマに、長野市総務部の防災対策官・吉原正夫氏による研修会を11月13日、Zoomで開催しました。

私たちの生活が自らの生活環境を脅かすようになっていきます。近年は災害がより深刻化することが多く、今年5月からは、避難情報も変更され、避難勧告が廃止、避難指示に統一。「命を守る行動を」というテレビでの呼び掛けも多くなりました。また、ハザードマップで、自宅や職場、子どもたちの学校や通学路の危険箇所を知ることの重要性や、今年から運用がはじまっ

た「長野市防災アプリ」やラジオを活用した情報収集、「もしも」の時にどう行動をとるか

30人余りの参加者からは、「ハザードマップを見て、自分が住んでいる場所が危険地域になっていて怖くなった」「全戸で毎年避難訓練をしている地区があり、自分の所は大丈夫なのだろうか」と、考える機会になったなどの感想が聞かれました。またオンライン開催については「スムーズに進んだ」「効率良くできる」という意見の一方、「参加者の反応がわかりにくい」などの声もありました。

「どんな形にしようかな」と取組む姿が印象的でした。

西部ブロック研修会(Youtube配信)



地附山は善光寺の裏山とも言われ、長野市民に親しまれた山です。今から36年前、大きな地滑りが起こり、湯谷団地では家屋等64棟が倒壊、約千人の住民が避難を余儀なくされた他、特別養護老人ホームでは5棟が全壊、死者26人怪我人4人を数え、有料自動車道バードラインは崩落・廃道となりました。

西部ブロックでは、「地附山の地すべりとトレッキングコース」と題して、地附山トレッキングコース愛護会の山上正視事務局長を講師にYoutube動画配信での研修会を行いました。

山上市務局長には、2004年オープンした防災メモリアル地附山公園で実際に撮影していただき、自然災害の恐ろしさだけでなく、地附山トレッキングコースの楽しみ方や、眺望や気軽な山歩きの魅力についても伝えてもらいました。地附山は標高733mの小さな山ですが、善光寺平の眺望やその裏側の飯綱高原も眺望が素晴らしく、昭和30年代にはロープウェイや動物園やスキー場であったそうです。古墳や戦国時代の城跡などもある地域の山で、天気の良い日に親子でトレッキングをしながら日頃の出来事を話してみたいかがでしょうか?

「防災」について学ぶオンライン研修会

南部ブロック研修会(8月28日市立博物館)

市立博物館でプラネタリウム&木工工作

8月28日(土)、長野市立博物館(長野市小島田)で南部ブロック研修会を開催しました。例年は親子で100人近く参加者が集まる人気のイベントですが、今回は15組30人に限定して実施しました。

「防災」について学ぶオンライン研修会

「防災」について学ぶオンライン研修会

「防災」について学ぶオンライン研修会

「防災」について学ぶオンライン研修会

「防災」について学ぶオンライン研修会

「防災」について学ぶオンライン研修会

「防災」について学ぶオンライン研修会

「防災」について学ぶオンライン研修会

「防災」について学ぶオンライン研修会

ただ今、受講生募集中!
詳しくはホームページを見てね!

あなたにぴったりの講座がきっとある!

講座カテゴリー

- 趣味・音楽・お花
- 手芸・工芸
- 語学・教養
- 書道・絵画
- ダンス
- 体操・トレーニング・球技
- 子ども・親子

はじめよう! あなたの好きなコト。

すみへいカルチャーセンター

お問い合わせ
お電話でお気軽に
お問い合わせください

☎ 026-213-8005

くわしくはホームページまで [すみへいカルチャー](#) [検索](#)

生徒募集

2022年 舞台予定

8月13日 白鳥バレエ学園 第29回発表会
ホク文化ホール大ホール

Hakucho Ballet Academy

〒380-0836 長野県長野市南泉町 639
白鳥バレエ学園・ダンススタジオブロードウェイ 026-234-4551

各校のSDGsの取組を紹介

～地域性を生かした特色ある取り組みや活動～

SDGsについて理解を深め、 自分にできる取り組みを考えよう

古牧小学校 校長 神頭 久典



SDGsという言葉が日常的に耳にするようになり、多くの小学生にとっては、まだまだ身近とは言えません。そこで、6年生がSDGsへの理解を深める学習を行いました。

まず、17の目標の中で自分が一番興味をもつ分野を選びました。その後、自分が選んだ分野で今何が起きているのかを詳しく調べ、これからどうすればよ

清野小学校

SDGsの取り組み

清野小学校 教頭 高地 達也

清野小学校の隣には「大里白鳥の池」があり、子どもたちはその池で魚を採ったり、自然観察をしたりして学んでいます。池を観察していた4年生が「池の水が汚れてきている」と感じ、調査活動を始めました。「池の生態系が乱れて水の汚れにつながっているかもしれない」と考えた子どもたちは、採った生き物について調べてもらうために、信州大学の先生に来ていただきました。そして、新たに「池の構造はどうなっているのか」と疑問を持った子どもたちは「池の水を抜いて池の中を調べる」ことにしました。土地改良区の方々にも協力していただき、水を抜いて調査を行います。このようにSDGs「持続可能



秋の森林体験学習

大岡小学校 校長 佐藤 俊彦

大岡には地域の人たちが大切にしている樹齢約300年と言われるブナの木があります。大岡小学校では、毎年「秋の森林体験学習」を行い、全校でこの母なるブナの木に会いに行



当日は快晴で、聖山展望台からは北アルプスの山々をはじめ、360度の大パノラマの絶景を見ることができました。聖山展望台から聖山高原チャペルまでの約8kmの道のりを歩く途中に、母なるブナの木があります。母なるブナの木の前では、ぶなの木の会の方から、大岡の人たちがこのブナの木を大事にしてきた経緯をお聞きした後、子どもたちはブナの木に触ったり、聴診器をあててブナの木の中から聞こえる音を聞いたり、みんな手を繋いで、ブナの木の幹の長さを測ったりしました。



聖高原チャペルに向かう途中では、県の林務課の方や市の農林部の方に森林のお話を聞いた後、ブナの木の方に自然に自生している山椒や山葡萄を教

若槻小学校の

SDGsの取り組み

若槻小学校 校長 吉澤 修一

若槻小学校では、教育活動全般においてSDGsにかかわる様々な取り組みがなされています。その中から、児童会活動で児童が主体的に取り組んでいる活動をご紹介します。

ポランティア委員会は、「若槻収集デー」を年5回実施しています。アルミ缶や牛乳パックを集中的に収集し、資源の有効活用に使われています。この収益金で、松寿荘の皆さんに使っていただく車を贈呈しています。環境委員会では、花壇



これらの活動は、SDGsが

クリーニング **APIA**

春の 学生応援 クリーニングキャンペーン

スニーカー丸洗い / 学生服 / 柔道着 / 剣道着 **30%OFF!!**



上記のお得な **クーポンGET** は
こちらの QRコードから →
(LINE で開きます)



クリーニングアピア LINE 公式アカウント

スマホで左のQRコードを読み取っていただくと、アピアの公式LINEとお友だちになれます！
トークで **春うらら** と、送信してクーポンGET♪



[広告]

